

環境の世紀 17 第 13 回 室田ファシリテーターの班

①班メンバーが自分の案を出す

A 図書館や学生会館の電気（コンセント）をチャージ制（有料、登録制）にする。

B キャンパス内に校内で出た生ごみや紙などを燃やす焼却炉を作り、その排熱を湯たんぽなどの暖房に利用する。

C サークルや授業が企画して、キャンパス内で発電する（太陽光発電、風力発電、圧力発電など）。

D 署名で太陽光パネル設置を求める。

E 使っていない部屋の電気を消すよう呼びかける節電キャンペーンを行う。

②みなに興味を持った対策から話し合う

A について

チャージ制にするメリットは？

——電気を使っているという意識を持たせることができる

——無駄な使用を抑え、電気使用量を減らすことができる

——電気が有料であることを意識させる

チャージ制にするデメリットは？

——チャージ制をとると、図書館の利用自体が減ったり不便になったりするのでは？

——不公平では？

図書館…持ち込み PC の使用は有料なのに、大学 PC (ECCS) 使用は無料

学生会館…電気が必須のサークルとそうでないサークル

——隠れて使われないよう見周りをしなくては行けないが、人件費がかかる

→対策：コンセントの口に登録者しか使えないような鍵をかける

施設自体を変える必要があり、学部に訴える必要がある？

学生会館ならできる？（連絡委員ががんばれば）

⇔電気使用の有料化は学生が反対しそう

⇒お金をポイントにして抵抗感を減らす

ポイントはゴミ袋をもらったりゲスプリを使ったりにも使える共通のものにする

E について

個別の意見

・なぜ節電キャンペーンをやるの？

・ただ漠然と節電するよりも、キャンペーンという規格を決めてしまうとやり易い

・ツイッターを利用する

・この授業のようにキャンペーンでもなぜ節電をするのかをちゃんと説明する必要がある

・節電量や使用量を分かりやすい単位で示すことで節電に実感を沸かせられる

・キャンペーンをやっても効果が薄い

⇒そうだと分かっているでもやるしかない（やらないよりはいい）